

ontona

かでる27

創刊

20th

開館

北海道新聞

発行所 北海道新聞社

郵便番号 060-8711  
札幌市中央区大通西3-6  
電話 011(221)2111  
©北海道新聞社2011

記念号

インターネットで道新ニュース  
www.hokkaido-np.co.jp

ご購入申し込みは  
0120-464-104

かでのからの贈りもの

クリスマス気分を先取りしよう

11月13日、かでの2・7では開館20周年を記念してのイベント、「かでのからの贈りもの」を開催。会場には、北欧のノルウェー・オスロ市からサンタランドとして認定されている広尾町から寄贈されたクリスマスツリー(樹齢7年のトドマツ)が飾られた。クリスマスコンサートや料理教室、スタンプリーに参加し、ひと足早いクリスマス気分を満喫しましょう。



ロビーに飾られた広尾町から贈られたクリスマスツリー

- ①ひと足早いクリスマスコンサート 10・30開場11・00開演(11・50)、13・00開場13・30開演(14・30)、かでのホール。道内出身者トリオが奏でるクリスマスにちなんだ室内楽の演奏会。出演・杉田知子(バイオリン)、矢崎有佳(ピアノ)、中川恵美(チェロ)。
- ②ちびっこサンタのスタンプリー ひと足早いクリスマスコンサート終了後、スタンプリーカードを配布(1回目11・50、2回目14・30)。各回先着200人。親子での参加も可。会場内5カ所のスタンプポイントを回れば、プレゼントがもらえます。
- ③ひろおサンタランドinかでの2・7 10・00～16・00、エントランスホール、展示ホール。ひろおサンタランドから贈られたクリスマスツリーを展示。ひろおサンタメールの歴史展示、サンタメールの受付も。
- ④道産食材でできるクリスマス親子料理教室 12・00～13・00、6階学習室。受付10・00、1階受付、先着20組。ホテルオークラ札幌の藤間高志総料理長が講師を務めるクリスマスケーキ作り。シチューの試食も。
- ⑤ちびっこリースづくり 12・00～13・00、1階展示ホール特設会場。受付10・00、1階受付、先着30人。
- ⑥「道新ぶんぶん号」来場者記念新聞発行 10・30、1階エントランスホール。先着50組。道新ぶんぶんクラブのキャラクター、ぶんちゃんもやって来る。

道新ぶんぶんクラブ web会員登録をしてプレゼントをもらおう!

「web会員限定プレゼント」  
「新商品などのモニターアンケート」「コンサートなどのチケット先行予約、抽選のご案内」などお得な情報満載のメールマガジンを受け取れるweb会員を募集中!

11月30日(水)までにweb会員登録をすると抽選で150人にすてきなプレゼントが当たるキャンペーンを実施中です。

《賞品》  
●お取り寄せサイト47CLUB特選商品【空沼工房】黒板消しストラップ(20人)  
●札幌市円山動物園年間パスポート(10人)  
●ぶんちゃんオリジナル・グッズ(120人) ※当選発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。

会員登録条件  
①道新ぶんぶんクラブ会員証が手元に届いている方  
②メールアドレスをお持ちで、パソコンもしくは携帯電話のインターネット接続が可能な方  
※道新ぶんぶんクラブへの会員登録が必要となります。まだ登録していない方は、HPで入会手続き後、会員証がお手元に届いてから改めてweb会員の登録をお願いいたします。

ぶんぶんクラブホームページから、応募フォームにアクセスしてください。  
※当webサービスからのメール(@hokkaido-np.co.jp)を受信できるように設定をお願いいたします。電話、FAX、E-mailでは受け付けておりません。

http://bunbun.hokkaido-np.co.jp/ 道新ぶんぶんクラブ 検索

【登録方法についてのお問い合わせ】道新ぶんぶんクラブ事務局 Tel. 011-210-5261 (平日9:30~17:30)

# かでのる2・7が開館 20周年を迎えました

道民活動センタービル「かでのる2・7」は、6つの公の施設が入居する複合施設として、1991年(平成3年)11月14日に開設されました。現在は「道民活動センター」「北海道立女性プラザ」「北海道立生涯学習推進センター」「北海道立アイヌ総合センター」「社会福祉関係諸団体」の施設等が入居しています。

「かでのる2・7」とは、道民活動センタービルが、ご利用になる皆様にとって、より身近な施設として親しまれ、利用しやすい施設となるよう正式名称とは別に、愛称を設けることとし、建物の開館時に道民の皆様からの公募により北海道が定めたものです。

「かでのる」とは、「仲間に加える」という意味の北海道の方言とされています。「かでのる 混ぜ合わせる」から来た言葉とも言われており、同じような意味で、東北各県や関東、甲信越、東海地域の一部や九州南部でも使われていると言われています。

「2・7」は、当ビルの所在地である北2条西7丁目を表わしています。

「集う・創る・広まる」という当センターのテーマがよく表現されていると見て選定されたものです。

## かでのる27



「オントナ」では創刊20周年を機に、本年4月から北海道内各地のお宝(優れた食・観光・地域資源)を女性目線で発掘(探し出し)し、情報発信(応援)する「ほっかいどうお宝発掘プロジェクト」を展開しています。

これまで、上富良野町、礼文町、網走市、道南地区、千歳市、江別市、広尾町のお宝を紹介してきました。本日のイベントでは広尾町とコラボレーションしています。

## 「オントナ」創刊20周年

道新サービスセンターが発行する女性向け生活情報紙「オントナ」は今年6月に創刊20周年、11月に紙齢1000号を迎えました。紙名のオントナは「大人のおんな」を合成したものです。創刊以来、「地域」「生活」「女性」の3つのポイントを中心に、暮らし、グルメ、料理、旅行、健康、経済、エンタテインメントなど、女性の興味が高い様々なジャンルの

生活情報・広告を無料でお届けしています。

最近の巻頭特集のテーマは、ほっとしたい日のお家カフェ(10/5)、できることで応援したい、今こそ、東北(10/12)、ほっかいどう旬味専科てん菜(10/19)、カジュアルを制してずっとイイ女(10/26)、1000円で手に入る幸せ(11/2)、ご近所の甘いもん。和菓子編(11/9)。「オントナ」は札幌市内・近郊エリアの北海道新聞水曜夕刊に折り

込み配布しています。(夕刊ブロイド判・16ページ・発行部数24万5122部)。

オントナのホームページには、読者投稿型のトクメイ係・タウンニュース係、いろいろな分野で活躍する方々のウェブブログ、プレゼントやアンケートコーナーなどを掲載しています。ウェブ会員も募集中。

(<http://www.ontona.com>)

オントナ事業部では働く女性向け情報紙「さっぼろシテイライフ」(原則月1回)、幼稚園・保育園児とその保護者向け情報誌「あんふあん」(月1回)も発行しています。



## 道新ぶんぶん号

この記念号を制作した北海道新聞社の多目的取材・宣伝車は道新ぶんぶん号は2004年8月に誕生しました。北海道新聞社は多くの人々にいち早く、正確なニュースを伝えるため、積極的に最新技術を導入しています。独自の紙面製作システムの開発をはじめ、インターネット

## 新学習指導要領がスタート

2011年度からスタートした「新学習指導要領」で、新聞が小学校の授業で取り入れられました。12年度には中学校、13年度には高校でも採用されます。子どもの思考力や判断力、表現力などの能力を伸ばすために、家庭でも生きた学習教材として新聞を活用しませんか。

や携帯電話を利用したニュース配信、紙面データベささまざまな取り組みを行っています。このような新しい取り組みの一つとして、道新ぶんぶん号が誕生しました。「ぶんぶん号」という愛称は公募で決めました。新聞の「ぶん」と、プリンと元気良く各地を飛び回るイメージを組み合わせています。

ぶんぶん号は①編集号外の発行②NIE支援③主催事業の宣伝やイベント新聞の発行④被災地での取材指揮や生活情報の発行の4つの目的をもっています。29人乗りのマイクロボスを改造してパソコンやデジカメ、カメラ、モノクロのプリンターを積み、自家発電機を備えています。

04年10月に発生した新潟中越地震では、新潟日報の要請を受け出勤。避難所ごとの「こだけ新聞」を発行し、被災者を元気づけました。ぶんぶん号のこれまでの出動は190回を超えました。

取材から印刷まで、フットワークを活かして活躍する「道新ぶんぶん」号。必要とされる情報を、必要とする人たちに、ピンポイントで伝える「道新ぶんぶん」号。ますます活動の場が広がってゆくと期待されています。

